

令和6年度 学校評価報告書

丹波篠山市立城南小学校
校長 小林 義則

1 学校教育目標等

『輝き つながる 楽しい学校』

2 今年度の重点目標

- ・安全で安心して学べる教育環境づくり
- ・生徒指導における協働体制の確立
- ・豊かな人間関係や人権感覚の育成
- ・言語活動を充実し確かな学力の定着を図る
- ・地域とともにある学校の推進
- ・働きやすい職場づくり

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分 野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
安全管理	環境整備	A	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に、整理整頓の時間を設け環境の整備に努めている。環境を整えることは気持ちが良いことを、発達段階に応じて指導を行う。
	時間やきまりを守る	B	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童が安全を意識して生活することができている。時間やルールを守ることの大切さや必要性について繰り返し指導を続けることで児童全体の意識は高まっている。
生徒指導	学校・学級での、自己肯定感を高める取り組み	B	<ul style="list-style-type: none"> ・常に子どもたちに、相手のことを大切に思うことの重要性を伝えている。また、人だけでなく、物に対しても大事に扱うことを伝えている。 ・授業だけでは十分できていない、授業での学びが生活に結びついていないと感じている。学校・家庭の連携が大切。
	規範意識の醸成 相手を大切に思うこと心	A	<ul style="list-style-type: none"> ・優しく接することができていると感じている児童が8割、指導ができていると感じている保護者がほぼ9割である。 ・道徳科や学活を中心に様々な場面を考えさせるように取り組んでいる。学級が安心な場所となるよう指導を心がけている。
学習指導	児童が主体的に学べるように授業や課題に取り組んでいる	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・保護者共に8割程度進んで学習をしている。また、教員は児童の主体性を高めようと意識して指導している。 ・児童の実態に合わせて課題を工夫する必要がある。
	個人思考や自己表現の場を保障する授業改善	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業では、意図的にペア学習やグループ学習を取り入れ、児童が考えを出し合える活動を設けている。少しずつ定着してきており評価が高まってきている。

地域とともにある学校	本物に触れる機会	A	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は人形劇を幼稚園、小学校が全員鑑賞することができた。本物に触れる機会を持つことで、子どもたちの豊かな心の育成に取り組むことができた。
	地域にでかけたり、体験的な活動を取り入れた「ふるさと学習」	B	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとを視点に教科学習と体験活動を結びつけたり、体験を通して思考力・判断力・表現力の育成につなげたりと、カリキュラムマネジメントを意識した単元計画をしていく。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

<ul style="list-style-type: none"> 地域及び学校安全のため、基本的な生活習慣や危機管理意識が確立されるように取り組まれています。 自己肯定感が低いお子さんが多いように思います。今一度、「自己肯定感」について先生方だけでなく、保護者も交えて共通理解する機会があればいいと思います。学級懇談会などで具体的な事例も含めて話し合いができるようになればいいと思います。 タブレットでの学習は便利なツールと思いますが、学習をしているように見せて、自分の都合の良いことの流れてしまうことが多くなっています。自己コントロールすることが子どもには難しい部分があると感じます。
--

(2) 総合的な評価（意見・感想）

<ul style="list-style-type: none"> 先生方が授業の準備をする時間の確保は大切だと感じます。子どもたちのために授業の力を高める取り組みを進めてください。 ふるさと学習（地域学習）は、すぐに目に見えた成果は出ないかもしれませんが子どもたちが大きくなった時には必ず役に立ってきます。 タブレットの指導も大事ですが、辞書を引いて正しい意味や文字で言葉に触れる機会が多くなってほしいと思います。また、書き順がわかるようになってくれれば嬉しいと思います。 思いやり、優しさについて、子どもたちの様子を見てると手を貸しすぎたり、相手のことを思って注意したりしているのかと疑問を持つことがあります。相手が手を貸して欲しい時にそっと手を差し伸べられるような本当の優しさを知ってほしいと思います。 地域でも挨拶がしっかりできる子できない子はいますが、大きな声で元気よく挨拶をしている子を見ると嬉しく思うと同時にこちらにも元気になります。今後とも学校・地域・家庭が一体となって取り組んでいってほしいと思っています。
--

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> かけ算を苦手だと思っていた子も何度も宿題に出たことでできると言う達成感が感じることができ自信につながっています。 先生の言葉は子どもたちにとって大きいことです。子どもたち一人ひとりの成長に応じて声をかけられていることもあると思いますが、やるべきことはやらないといけないことがあるので、いろいろな考え方はあると思いますが、学習に向かう態度など家庭ではなかなかうまくいうのが難しいときがあります。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題が大きな問題となっていますが、友だちに優しく接している児童が多いと言う事はすごく良いことです。先生方の指導の成果だと思います。 頑張ったことにより一定の成果などにより、自分に自信を持つ行為は自信を持つ子多いと思いますが、それだけでなく、周りの人たちの声かけや働きかけにより自分の良さに気づくことができることが増えていってほしいと思っています。生活の中でやって当たり前のことができていることの素晴らしさをお互いに認め合い伝え合うことが自己肯定感を高めることにつながると思います。
地域とともにある学校	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶についてはよくできているという評価もありますが、地域で挨拶ができていないという声を聞くこともあります。大きな声でしっかりと挨拶ができるようになってほしいと思っています。 子供たちの放課後の過ごし方についてですが、夕方遅くなったときは事故や事件が起りやすい時間帯と考えます。先生が声をかけていただいたり、家庭での教育・地域の力を合わせてバランスの取れた社会になれば良いと思っています。

